

時代が求める 多様な庭園

[ホテル・旅館7題]

01

真松庵

横内敏人、中村義明、花豊造園

02

長野ホテル犀北館

常碧庭

重森庭園設計研究室

03

hotel tou
nishinotoin kyoto
LANDSCAPE NIWATAN

04

扉温泉

明神館

庭蒼

05

金宇館

庭のクニフジ

06

沢乙温泉

里山旬味うちみ旅館

よっちゃんの庭工房

06

燧冶

LANDSCAPE NIWATAN

庭の未来へ

庭
NIWA

247
2022夏

NIWA SPECIAL REPORT
造園から紐解く
開放感を生む湯処のかたち

SPECIAL REPORT OVERSEAS
白亜庭 / Chalk Garden
Kodai and associates
& Otis Landscape Associates

INTERVIEW

鈴木久男氏

京都産業大学 日本文化研究所 客員研究員



上=既存の湯小屋を解体して更地にし、防水シートを敷いて滝組から庭づくりをスタートさせた。
中右=別館が建つ地面との高低差を考慮しながら滝組と土留めで骨格をつくっていく。
中左=石組で庭の骨格が出来た後に、湯小屋の基礎を打ち、大工と相談しながら國藤さんは浴槽の中に石を据えた。
下=今回は、庭の石組の後に建築工事を行った。



手法だったという。

「今回は、縮尺率を変えた舞台美術的手法を利用することを思いつきました。けれども巨石でありながら遠近感の出そうな部分を利用ししかも何度も組み直すいわゆる『試し』ができない現場の状況でした。始めに岩をなめ回すようにじっくり眺めて吟味し、それをどう近景と遠景に組むかを考え、岩のサイズから逆算して地下の支え石（捨て石）から組み上げていく手順は、失敗しないかとてもヒヤヒヤしました。岩と岩の間に多くのポケットを設け下層から表土まで改良土で地層をつくり、最終的には施主の求めている

里山の景色になるように木々の根張りのための工夫もしました。庭が完成してもまもなく2年ですが、木々も根付いて景色になじんでいてほっとしています」（國藤さん）

100年後にも誇れる仕事を

一方、改装する本館は、創業当時の柱や梁、建具など、残せるものは極力残し、新たに使う建材も既存のものになじむ材料を選び、建具などの意匠も100年前のものに合うように、北村さんが既存の建物のディテールをトレースしてデザインしている。元々襖で

仕切られていた庭に面した3つの個室宴会場は壁と建具を取り払い、新たにロビーとして生まれ変わった。創業当初につくられた中央に池がある主庭が、ラウンジやダイニングからパノラマのように一望できる。

「改修前に、襖を取り払ってみたら、庭に向かって広がる開放的な空間が広がっていました。金宇館を設計する上で鍵となったのは、やはり庭ですね。庭の見え方を常に意識しながら動線計画や建具のデザインについて考えています」（北村さん）

金宇館リニューアルプロジェクトは、金宇さん立会いのもとに、週に1

度の定例会議が行われた。職人同顔を合わせて進捗報告や納め方のする機会があったことが完成度さにつながったと北村さんは感じるといふ。

「今回、大浴場は半屋外の屋根付天風呂になっていて、國藤さんの『槽も庭』というアイデアを元に、の中にも石を据えています。庭師工も一緒に仕事をする中で、國藤たち庭師チームの丁寧な仕事ぶり発された大工チームが、浴槽の縁に石をかませるディテールに工夫など、すごくいい影響を与えあったのが印象的でした」（北村さん）

「職人同士が気持ち良く仕事したのは、金宇さんがトップダウンなく我々の仕事を寛大に見守ってさったからに他なりません。100前につくられた建築の意匠や庭のなどを見てみると、当時の職人のの高さに圧倒される部分があり、ですから、100年後に残った本館が次世代の職人たちに笑われなうな仕事をしなければという使命ありました」（國藤さん）

金宇館は2020年4月にリアルオープンを果たした。コロナっ只中の再船出となったものの、外から大勢の客が訪れていると「職人の皆さんが丹精込めてつくくれた空間に、われわれにとっ常連のお客様にとっても愛着が生まれています。長く愛される旅館と大切に育てていきたいですね」とさんは嬉しそうに話してくれた。



上〜2つの大浴場は半露天風呂として、屋外側に「湯上り庭園」から連続した庭とした。庭と浴槽が空間として連続することから、浴槽も庭の一部と捉えて、庭と浴槽の境を溶け合に扱えた。

右頁〜新築した大浴場と本館とを繋ぐ一帯を「湯下り庭園」とし、高低差のある地形を利用して石を配み、苔の緑色を強調した流れをつくらせた。

左〜隣りの温泉施設。山辺石を中心に据えた湯山風の坪庭が映められる。

下〜流れの境上から眺めた「湯上り庭園」。

